

なくそう原発 まもろう平和憲法



神栖市の主人公は市民です



日本共産党

日本共産党市議は、市民の声をとどけます。
税金の使い方をただすチェック役としてはたります。
みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。

市のためこみ金 **86億円** の一部をくらし応援へ
(自由に使える財政調整基金の残高)

新しい議会で提案します

共産党の提案で実現

● 国保税 **世帯2万円引き下げ** 年約3.3億円

神栖市の約半数の世帯が、国民健康保険に加入しています

● 上・下水道料金の値上げストップ 年約2.5億円

今年4月から、水道9.9%・下水道27.6%の値上げを実施

● 住宅リフォーム助成の復活 年約5千万円

過去2年間で582件に9,439万円助成され、リフォーム総額6億6,863円の仕事が地元業者に発注

● 介護保険の負担軽減

神栖市の保険料基準額は月額5,400円で、
県内9番目に高い(県平均額は5,204円)



高校卒業まで医療費助成 4月からスタート!

「お金の心配なく病院に行けるように」— 日本共産党市議は8年間、高校卒業まで医療費無料化を議会でくり返し提案。「無料化を求める実行委員会」のみなさんと市に申入れもしました。

その取り組みが実り、今年4月から18歳まで医療費助成が拡大。年約**2500万円**の予算で実現できました。

安倍政権を退陣させ

戦争法廃止の政府をつくろう

戦争をくり返さないと誓った憲法に違反し、「戦争法」(安保法制)を強行した安倍政権。日本の武器輸出を解禁して、軍事費は過去最高の5兆円を超えようとしています。

いまこそ、党派や立場の違いをこえて、子どもたちの未来へ平和憲法をつなぐために、力をあわせましょう。



● 戦争法「廃止」「反対」と言えない議会を変えよう

12月市議会で「戦争法廃止」を主張したのは日本共産党市議だけでした。

神栖市 核兵器廃絶平和都市宣言

鹿島灘の日の出
大利根の夕映え
神の池に憩う水鳥
みのり豊かな大地にそびえる平和の塔
そこに、私たちの平和なくらしがある。

子どもたちの笑顔、躍動する姿
生きとし生けるものの幸せと自由
平和の中で熟されてゆく生命と歴史の尊さを
核戦争の惨禍にさらしてはならない。

しかし、いま、地球上に核兵器があふれ
核戦争の脅威は日々強くなっている。
私たちは、広島、長崎に原爆投下を受けた
世界でただ一つの被爆体験国として
全世界に核兵器の廃絶と恒久平和を訴える。

ここに神栖市民の願いをこめて
核兵器廃絶平和都市を宣言する。

昭和61年8月15日 神栖市

ご存知ですか